

知事のカザフスタン共和国訪問について

1 要旨・目的

被爆・終戦 80 年を迎え、核被害を受けた国や地域における被曝の実相への理解を深め、国際機関や各国政府等との連携を強化していくことを通じて、核兵器廃絶に向けた県及びへいわ創造機構ひろしま（HOPe）の取組を加速させる。

この一環で、知事が、カザフスタン共和国を訪問し、旧セミパラチンスク核実験場等を視察するとともに、同国政府との意見交換を行う。

2 現状・背景

県及びHOPeでは、核兵器のない平和な世界の実現に向けた取組を進めており、国際機関や各国政府関係者に対して働きかけを行っている。

カザフスタン共和国内の旧セミパラチンスク核実験場では、450 回を越える核実験により、100 万人以上が被曝したとされる。同国は、中央アジア非核兵器地帯条約締約国の一つであり、NPT運用検討会議第 2 回準備委員会（2024 年）や第 3 回核兵器禁止条約締約国会議（2025 年）で議長国を務めるなど、独立以来、核兵器廃絶の取組を国際的に主導している。

3 概要

(1) 派遣者

知事、関係課職員

(2) 実施内容

- 旧セミパラチンスク核実験場訪問
- セメイ医科大学訪問
- 被曝者証言の聴講、資料館の視察
- カザフスタン共和国政府関係者との面談
- 国際科学技術センター（ISTC）訪問 等

(3) 期間

令和 7 年 7 月 14 日（月）～20 日（日）

(4) 予算（単県）

23,755 千円